

## 網羅的ながん予防・早期診断・治療体制

### リキッドバイオプシー検査実施

マイクロRNAを活用した検査を、血液・尿いずれの方法でも検査が可能  
がんのみならず、認知症や老化に対するリキッドバイオプシー検査まで実施できる体制を確保

#### 異常あり

ハイスペックな画像検査により、  
確定診断まで行える体制を確立

内視鏡検査

超音波内視鏡検査

CT

MRI

#### リキッドバイオプシー検査でがんが疑われたのに 画像検査で同定できない場合

予防治療の提供により、  
目に見えるがんへの進行抑制を目指す

#### 異常なし

定期的に関リキッドバイオプシー検査を実施し、  
リスクの早期発見を目指す

#### 遺伝子治療

予防治療の選択肢として、  
「がん抑制遺伝子」と  
「がん遺伝子を不活化する遺伝子」の  
2つの効果が見込める製剤投与治療を提供

#### 高濃度ビタミンC点滴

予防治療の選択肢として、  
がん細胞の活動にアプローチする  
可能性がある点滴治療を提供